

令和 4 (2022) 年度 第 1 回熊本市公共交通協議会 議事録

I 日時等

1. 日 時 : 令和 4 (2022) 年 7 月 22 日 (月) 午後 2 時 30 分 ~ 午後 4 時 00 分
2. 場 所 : 桜の馬場 城彩苑 2 階 多目的交流施設

II 主な内容

1. 開会
2. 委嘱状交付及び委員紹介
3. 市長挨拶
4. 会長選出
5. 副会長指名
6. 会長挨拶

7. 議事

(議事に入る前に、これまでの協議会の振り返りとして「熊本市における公共交通について」資料 1 で説明)

(会長)

- ・熊本市の公共交通の現状でありますとか、今までの取組についてご紹介いただいた。これからの議事の参考資料として取り扱わせていただく。

(1) 部会構成、専門部会委員について

(事務局)

- ・資料 2 を用いて説明

(会長)

- ・昨年度の委員会への意見ということで、大変厳しい御意見もあったが、おっしゃることはごもっともで、枝葉の取り組みだけでなく、ハード対策をしっかりとしよう、あるいは結節の話をしっかりとしよう、また協議会をきちんちと運営しよう、というのは、まさにご指摘のとおりだと思う。そのご意見を踏まえた部会、協議会を運営していきたいと思うがいかがか。

(委員)

- ・異議なし

(2) 各専門部会での検討内容について

(事務局)

- ・資料3～5を用いて説明

(委員)

- ・交通結節点機能強化検討部会において、現況調査を実施するとあるが、新水前寺駅や健軍町電停でのJRから市電への乗り換えなどについては、ICカードである程度分かっていると思うが、さらに実態を精査するのはあるかなと思う。
- ・ただ、せっかく委託されるのであれば、それに加えて、バス網再編などにも役立つよう、例えば、公共交通ランドデザインの基幹公共交通軸の中で鉄軌道ではなく、バスが基幹公共交通を担っている国道3号線や旧57号線などでも、JRとバスの結節点である竜田口駅とか、あるいはバスとバスの結節点である子飼橋とか、そういった結節点のデータもできる範囲で調査いただければと思う。
- ・市電とバスの結節点でいえば、九品寺交差点などをやっていただければなど。
- ・逆に新水前寺駅などの乗り換えはデータを見れば分かるので、そこまで調査する必要はないと思う。その辺りを今後の調査の中に反映させていただければと思う。

(会長)

- ・調査の進め方に対する提案ということで、既存のデータでも分かる部分もあるので、わからない箇所の調査についての提案だったが事務局はいかがか。

(事務局)

- ・TSMCが進出されることで人流が変わって、交通は今まで想定しなかったところで負荷がかかるようなこともあると考えている。その中で、今年度の委託の中でできるかどうかを調整させていただきたいが、今おっしゃられたような、竜田口駅や九品寺交差点など、全体でTSMCの影響が出るような部分や、それ以外でも負荷がかかるようなところを調査しながら、交通結節点機能強化検討部会で継続的に協議いただきたいと考えている。

(会長)

- ・ぜひよろしくお願ひしたい。ほかにいかがか。
- ・部会長の先生方にも一言ずつコメントいただきたいと思っている。
- ・まず私から、交通結節点機能強化検討部会に関して、資料3にあるチャリチャリという新しいシェアサイクルはすごく有効だと思っている。今年の4月から始まったサービスで、今日ここへ来たときに利用したが、大学から熊本市役所までバスで来て、市役所から城彩苑までチャリチャリで行くみたいな、ちょっとした移動なんかで、スマホで数十円で使えたりするので、公共交通の利便性を高めるために重要な取り組みだと思う。様々な他のモードとの連携が非常に重要なので、そういったことも含めて、部会では議論できればと思っている。
- ・続いて、バス機能強化検討部会について、副会長より一言いただきたい。

(副会長)

- ・交通結節点機能強化の中で、鉄軌道がないエリアについては、バスの機能強化が求

められることになると思うが、昨年度の協議会委員からの主な意見であった「枝葉の取組だけでは効果は限定的」というところとあわせて見たときに、例えば、バス機能強化検討部会では、産業道路のバスレーンの話が具体的に挙げられており、そこを基幹軸として、郊外から何らかの形でバスに乗り換えてもらうときに、交通結節点機能強化検討部会のほうでは、その辺のことは具体的に挙がってなくて、市電などが中心になっている。その辺りの整合をどこで図るのかなと気になった。

(会長)

- ・確かに、まだまだ個別の事業が議論の対象となっている印象で、全体としてどういう方向に行くのかという将来ビジョンが描けていないところもあるので、そういったこともきちんと議論するという理解でよろしいか。もし何かあれば、事務局からお願いしたい。

(事務局)

- ・鉄道、軌道、バス、さらにはシェアサイクルや自転車など、様々な各モードが連携し、ネットワークとして交通を支えていくというのが重要な視点と考えている。そういう視点を持ちながら、部会は違っても、常に連携しながら検討を進めたいと考えている。

(会長)

- ・次はコミュニティ交通部会について、副会長に一言お願いしたい。

(副会長)

- ・本年度からこの協議会の委員となったため、まだ把握していないところもあるが、現状、デマンド型乗合タクシーが 21 路線運行されており、利用状況は厳しい状況にあると理解している。そういったところを補う形の AI デマンドタクシーの検証をしていくということで、昨年度健軍地区で検証されたということを知っている。これがうまくいって、デマンド型乗合タクシーの機能を担うことができるようになればいいと思っている。

(会長)

- ・色々なサービスが出来てきており、AI が向いている地域と、そうじゃない地域があると思うので、地域にしっかり入って、色々な検討を行いながらその取組を進めていただきたい。
- ・時間も過ぎたので、次の議事に進みたい。「議事 (3) 今後の開催スケジュールについて」を事務局から説明をお願いしたい。

(3) 今後の開催スケジュールについて

(事務局)

- ・資料 6 を用いて説明

(会長)

- ・このスケジュールで進めていきたいと思うがいかがか。

(委員)

- ・異議なし

(会長)

- ・では、次の議事ということで、「議題(4)熊本地域乗合バス事業共同経営計画(2022年10月版)について」をご説明いただきたい。バス事業者各社から本協議会に対して、独占禁止法特例法に基づく意見聴取の申出があったので、この場で計画(案)についてご説明いただき、委員の皆様のご意見を伺いたい。
- ・それでは、共同経営推進室よりご説明をお願いしたい。

(4) 熊本地域乗合バス事業共同経営計画(2022年10月版)について

(共同経営推進室)

- ・資料7~8を用いて説明

(会長)

- ・ご意見、ご質問があればお願いしたい。

(委員)

- ・廃止される秋津健軍線のすぐ近くに住んでいる者としては、非常に身近な問題。この秋津小楠記念館前は、子供の頃からよく利用したバス停。時代の流れと、住み方が変わってきていることと、この路線の問題の難しさを、非常に短時間の説明ながらも、大きな課題の中で、調整に調整を重ねた資料ということがよくわかった。
- ・つつい感情論的に切り捨てられるかのようなイメージを持ちがちだと思った一方で、今回の部会が3つ設定される中で、コミュニティ交通という考え方が、1番最後のラストワンマイルというわけじゃないけど、そういうところの議論と、全体の設計の部分、接続というところを、役割分担する意図を何となく読み取れるかなと思った。
- ・そういった視点をどういうふうに複合的に見るかというところで、この秋津健軍線の説明でいくと、資料の地図には書かれてないが、廃止される秋津小楠記念館前バス停とは別に小楠記念館入口バス停があり、別の路線でカバーされるということ、もう1段階立体的に議論して説明していくことが、地域への支援として必要だと思う。
- ・また、益城方面から動植物園前を通る路線が新しくできることは、新しい観光事業というわけではないが、新しいコミュニケーションを生み出すのではないかなど、副次的な経済効果という視点も、なんらかの議論として、地域に持ち込んでもいいのではないかと思ったところ。
- ・環境的な立場からコメントさせていただくと、この交通の機能強化の副次的な効果として、脱炭素の動きの中に対するインパクトという視点も、可能な範囲でだが、議論の中に組み込んでいただければと思う。

(会長)

- ありがとうございます。協議会全体に対する意見もあったかと思うが、バス路線の再編に伴ってバス停が廃止されたことに対して、コミュニティ交通で上手く対応するとか、あるいは、計画についても、資料の見せ方において廃止されるバス停の近くにある小楠記念館入口バス停があるというのを知るようなほうがいいというような、大変前向きなコメントをいただいた。
- いただいたご意見を取りまとめて、バス事業者に提出したいと思う。
- それでは本日の議事を終了する。